

地域とのタウンミーティングの概要

団体名 川越市自治会連合会高階支会

開催日 令和7年10月6日（月）午後2時から

会場 高階公民館 講座室1号・2号



意見交換の概要

1 自治会運営の構造的な課題と持続可能な地域社会づくりに関する提言

発言者

自治会運営の構造的な課題と、持続可能な地域づくりに関する提言ということで、今回、自治会館の修繕に対する助成金の手続きにつきまして、工事に取りかかる前に申請が必要だったにもかかわらず、申請書提出前に工事を行ってしまったことで助成を受ける事ができませんでした。私の失敗ではありますが、自治会長も自分の仕事をやりながら自治会の仕事をやっている方も多いと思います。そのため、SNSなどを利用することで実際に集まる会議が減ってきてている状況で、みんなで一緒に管理していくのも難しく、これから同じようなミスがでてくるのではと懸念しております。以降申請する方のためにも、先に工事してしまった場合には、このような手続きで、証明書を出せば後からでも認めますというような、猶予の施策を作ってもらえると、自治会長はボランティアで地元のため協力しているので、個人的な負担をしないですむのではと思いました。

今年は民生委員の交代や国勢調査、選挙もあり、いろいろ選出の依頼がありました。昔は自治会の加入率が100%でしたが、加入者が減っているところで、お金を払って自治会に入っている人の負担が増えて自治会を抜けた人には負担がないという状況になっています。

自治会に入っている人でも、自治会に入っていない人もごみは集積所に出すことができるなら自治会を辞めますという人がいます。そう考えると、できれば自治会に入って、いろいろな地域の活動に参加してほしいというお願いのようなものが足りないのではと思い、ごみ問題としましては、市で地域の人が捨てる場所を作り、自治会に加入している人は近くの自治会が管理する集積所に捨てて、自治会に入っていない人は地域の集積所に捨てて管理も非自治会員でやってくださいというような方法でごみを捨てる、このような提案をするくらい、加入率が減ってきてているという現状を知っていただきたいと思ったところです。

民生委員や国勢調査の調査員も、自治会に選出の依頼があって、自治会員の中から時間をかけて、断られながら探していくような状況ですが、それによるサービスも自治会員のみに行くわけではないので、どこまで自治会が今までのように川越市のために動けるのかというところが、今後の問題なのではと思いました。

市民部長

貴重なご意見、ご提言ありがとうございます。また、地域の発展のため献身的に勤められていらっしゃいますことに深く敬意を表しますとともに、感謝申し上げます。

まず1点目、補助金に係る支援体制につきましては、行政が行う補助金につきましては、適正かつ公平に運用されることが求められております。補助金制度の一定の基準に則って、誰が見ても交付手続きや申請がきちんと行われることが、補助金交付を行う市としても大事になってまいりますのでご理解賜りますようお願い申し上げます。

また、自治会に対する支援体制ですが、例えば補助金申請を行っていない自治会に対して、自治会長様に直接ご連絡差し上げるような対応も現在検討しております。会長様の言うとおり、通知を見過ごしてしまうことのないよう、年度当初に差し上げている補助金の案内の中の表現も、視覚的に訴えるように工夫するなど、今後市から発する文書につきましても、改善を図っていきたいと考えております。

2点目の自治会の加入率低減といった問題点から、行政のあり方といったところのご提言をいただきました。市役所の業務は、自治会のご協力なくしては到底成り立ちません。そのような意味で、自治会を市の最大にして強力な共同パートナーであると私自身も認識しているところです。

今年度は民生委員や国勢調査の調査員などの選出と重なったこともあり、自治会長の皆様にはご負担をおかけしてしまっているところです。特定の地域からの選出が必要なものは市で公募するなども難しいですが、実例として期日前の選挙立会人について若いを中心公募しているというような例もございますので、やりたい人が手を挙げるような仕組みも検討する必要があるかと考えております。

川越市に限らず、自治会の加入率は全国的に問題を抱えておりまして、市民部としても、効果的な対策というのはなかなか見いだせないところではありますが、他の自治会でうまくいっているような事例を研究・参照しまして、それを各自治会に還元できるようなこともできればと考えております。

市長

どこの自治会も抱えられているような根本的な問題について触れていただいたと思っております。

日本を良くしているのは自治会であるというようなお話を先日聞きまして、全くその通りだと思う一方で、自治会の方々の負担の問題、そして自治会に入らない人が増えている問題というのは大きな問題だと思っております。しっかりと考えていきたいと思います。どうもありがとうございました。

2 道路側溝のゴミ出しについて

発言者

稻荷町、清水町など藤間区画整理をした4町で側溝に泥がたまりやすく、年2回ごみゼロ運動で側溝掃除をしていますがそれでも足りないのでもう少し何か対応を考えてもらえないかと思い提案しました。

私の地区は側溝と雨水樹が設置されているので心配していないのですが、今言った4町は初期に区画整理をしたところで雨水排水がまだよくできておらず、寺尾の方に流れてガード下に雨水が溜まるところがあったりするので、市の方でどのような対策をしているのでしょうか。

建設部長

まず側溝について年2回清掃していただきありがとうございます。ご意見の4町はまだ畠が散在しており、そのため泥水が側溝に堆積している状況が見受けられます。

側溝清掃については、自治会等からご要望いただきましたら、現地調査を行い、軽微なものは職員で対応し、蓋が開けられないような職員が対応できないものは業務委託などで対応しております。

今後につきましても、ご要望をいただきましたら現地調査を十分に行い、排水機能がきちんと確保できるような対応を図ってまいりたいと思います。

3 第2回寺尾地区災害時の合同避難訓練について

発言者

私の地区の一部では、ちょっとした雨でも道路が冠水するような状況になっております。ここは並木通りより低いため、少し雨が降ると水が溜まってしまいます。過去2度、床上床下浸水が2017年で約400軒、2019年で約240軒の水害被害がありました。

地域的に低いところであることもあります、約10年以上前に新河岸川の氾濫防止のため寺尾調節池ができました。調節池ができる前はそこが湿地帯で、雨が降るとそこに溜まっていたので床上床下浸水を防いていましたが、その池の堤防により雨水が流れず、大雨が降るとその地域の住民は枕を高くして眠れないといった状況にあります。

道路から低い地域を、地形的に直すことはできませんが、もう少し排水の対策を考えていただけませんでしょうか。川越市、それから国、県にもその地域の水害対策にはご尽力いただき、以前より状況は良くなっていますが、大雨が降るとまだまだ住民は枕を高くして眠れない状況にございますので、何とかご尽力いただければということです。

危機管理監

お話しにあります地域、ひいては高階地域の皆様方におかれましては、雨が多い時期には大変ご不便をおかけしていると認識しております。

寺尾調整池ができたことで新河岸川に道路冠水した水が流れないとお話しもいただきましたが、防災危機管理室といたしましても、いろいろな災害時の活動体制の中で、過去に移動式の排水ポンプ車を2台調達し、並びに中島雨水ポンプ場には可搬式の、大型の排水ポンプを2台用意しております。さらに、防災危機管理室として新河岸駅周辺地区整備事務所等に可搬式ポンプを複数台用意し、状況を見極めつつ排水作業を徹底して行わせていただきたいと考えております。今までもこれからも、引き続き全身全霊をかけて、我々で務めさせていただこうと思いますので、至らない点があるかもしれません、その都度またご指摘を頂戴できればと思います。

建設部長

中島の大型ポンプにつきましては2台設置しております、職員もその場所は特に冠水する場所と意識しているところです。場合によって2台の排水ポンプ車のうち1台を回すことも可能ですので、台風の時期やゲリラ豪雨などにも、そちらの場所につきましては、周辺も含めて注視しながら対応させていただきたいと思います。

市長

寺尾地区の大雨に対する危機感の状況について、お知らせいただきありがとうございました。排水ポンプ車の訓練に私も立ち会ったところでございます。いざというときはなかなか備えていた以上のこととはできないという話も研修で聞いたりしているところでございますので、日頃からしっかりと備えをして。しっかりと危機感を持ってあたっていきたいと思います。ありがとうございました。

4 道路6358号線の早期工事完了を要望

発言者

南部公共広場から河岸街道に抜ける、高階地区と福原地区の境の6m道路である、道路6358号線がございます。この道路の残り150mの工事が、3年から4年位全く進んでおりません。用地課に確認したところ、買収は全部終了し、測量も全部終わっている状況ですが工事が止まっているため、用地買収された畠に車が入ってしまっております。そこに轍ができて水が溜まり、近隣の方々にご迷惑をかけています。近隣の方々の苦情は私の方に来てしまうため道路街路課に聞いたところ、予算が取れないというお話しでした。ぜひ市長にこの事実を知っていただきたく提案させていただきました。早期の工事完了をお願いしたいと思います。川越市の予算がかなり厳しいという状況も聞き及んでおりますが、なるべくこちらの方に予算を回していただき、早く道路ができますことをお願いしたいと思っております。

建設部長

市道6358号線につきましては、令和3年度に南文化会館の北側交差点部分の用地取得にご協力をいただきまして、計画した全ての用地取得が完了しているところでございます。大雨が降ると取得したところが泥でぬかるんで、沿線の住民の方々には大変ご迷惑をおかけしております。

そのようなこともあり、未着手となっている残り120mにつきまして、まず支障となる電柱の移設を先行して進め、予算の関係もございますが、事業課としては早期の事業完了を目指したいと考えておりますので、ご協力の程よろしくお願いいたします。

市長

ぜひ知ってほしいということでご意見いただき、ありがとうございました。確かに承知いたしましたので、建設部ともしっかりと情報交換しながら、検討を進めてまいりたいと思います。ありがとうございました。

5 レベル4の避難指示が発出されたときの自治会の対応について

発言者

大雨警報、大雨警戒レベルについて、令和3年からレベル4までに必ず避難と内閣府消防庁から指示されています。内水災害に台風のたびに襲われる寺尾地区や砂弁天地区ではその対応に備えることが肝要です。しかし、夜間では自治会としては、安全上の責任から避難行動を呼びかけることはできません。

多くの避難指示が発出されて、自治会として行動が取れる場合、高階小学校や砂中学校が本当に受け入れてくれるのでしょうか。市の職員が待ち受けてくれるのでしょうか。

また、寝具や食料品を伴って、自助として避難していくのでしょうか。共助として自治会が支援をしていくのでしょうか。

最後に、大雨の際に砂中学校は本当に避難所として機能できますか。避難する車が水没してしまいます。

危機管理監

気象状況が激甚化、複雑化している状況の中、早期注意情報を発令するという流れが国を挙げて行われている状況でございます。市民の皆様の身の安全を第一に考えますと、我々としても早期に避難していただけるような環境の整備はとても重要と考えております。台風や、最近では、線状降水帯の発生や記録的短時間大雨などといった気候状況の変化が著しい状況でございます。夜間の避難の前に、高齢者や障害者の避難のためには、早め早めに避難所開設の準備を整え、職員が避難を受け入れていくような環境整備をしていきたいと考えております。

避難所には段ボールベッドや水・乾パンなどの食糧を一定程度備蓄しておりますが、その数に限りがあることから、災害の規模や避難の期間などにより不足が懸念されます。

そのため、川越市としましても、市ホームページや防災訓練の機会を通じ、市民の皆様にも一定程度の備蓄をお願いしております。自主防災組織におかれましても、可能な範囲でご支援いただけだと幸いと考えております

砂中学校への避難につきましては、砂中学校付近は水害ハザードマップの浸水想定が3mから5mとなっているため、砂中学校を避難所として開設した場合、原則として3階以上へ避難していただく運用とさせていただいております。

このような立地的状況を考慮し、高齢者や障害者と共に避難する場合には、やむを得ず車で避難することは理解しておりますが、車の水没が懸念されます。

防災危機管理室としましては、砂中学校の近くにいるから砂中学校に避難するのではなく、車を利用しての避難の必要がある方は、浸水の恐れが低い高台に早めに避難していただくようお願いしておりますので、ご理解いただいた上で、ご自身の環境にあった避難所を選んで避難していただくようお願いいたします。

市長

今、危機管理監からお話をありましたとおり、危機管理監を中心に、いろいろな事態を想定しながら、災害の危機管理をしてまいりたいと思います。ありがとうございました。

6 ①歩行者と運転者の両者の安全性について

②旧道で車両のスピードの出し過ぎが多い

発言者

私の地区は、国道 254 号沿いに平行して旧道の市道が平行して走っており、通学路にもなっております。通学路の安全性についてお聞きしたいと思います。

①の歩行者と運転者両者の安全性について、旧道の道路は車道側から見ると、縁石、細いガードレール、歩道という配置関係になっております。

道幅が狭く、車両がまず縁石に接触することでタイヤが乗り上げ、乗り上げた車両でガードレールを押し潰し、運転している運転者も怪我をするという事故が度々繰り返されています。設置されているガードレールが白い鉄板のようなものではなく、パイプのような白い細いガードレールなので、歩行者などの安全性が担保されているのか少し疑問に思いました。それと車両が乗り上げて、車側にも結構なダメージがある。そういったことを根本的に何か解決する方法はないのか、他の地区でも同じような状況が見られていないかお聞きしながら、対策をお聞きしたいと思います。

次に、②の旧道で車両のスピードの出し過ぎが多いです。これは国道 254 号と並行している直線的な道路で、朝夕の交通量が非常に多くなっています。

旧道の制限速度は 30 kmですが、他の自治会長との話でも、朝の通勤時間帯などは、急いでいて 20 kmくらい超過している車が多いのではないかとの話がでています。特に東光寺付近の坂道は下り坂でカーブもあり、市内いたるところに同様のところがあるとは思いますが、安全対策やスピード違反への対策ができないかお願いしたいと思います。

建設部長

この旧道はもともと幅員が狭小で、狭い中無理矢理歩道を設置したような状況で、私も若いころこの地区の担当をしていた時、よく事故が起きていた状況を見ておりました。

カーブなど危険なところの歩道への車両の進入を防止するため、縁石とガードパイプが設置されております。今後、縁石への乗り上げ防止のため反射材など視認性を確保するものを多めに設置し、ドライバーが速度を落とすような事故防止対策を警察とも協議し、考えていきたいと思っております。

いずれにしても、ガードパイプの安全性も含め、近々に取り組んで考えていきたいと思いますので、地元の方にもご協力いただきながら進めさせていただければと思います。

市民部長

縁石に沿ってある外側線に薄くなっている部分が多々見られるというご意見につきまして、外側線や路面標示の修繕は市民部で行っております。今後現地調査させていただきまして、緊急性や優先度を勘案しながら、順次修繕していきたいと考えております。

次に、制限速度に係る安全対策、それからスピード違反対策について、でございます。

旧道であります市道 0046 号線につきましては、例えばスピード落とせ、交差点注意、学童注意、園児注意、横断者注意などといったいろいろな路面表示を行い、ドライバーに注意喚起を行っているところでございます。

また東光寺付近につきましては、南向き北向きの双方向で学童注意の注意喚起を行っております。交差点部分につきましては、T字路も含めて、ベンガラ塗装といいまして、赤茶色を路面に枠で表示する、学童注意などの路面表示を囲むような形で画面を塗装しているようなことも行っております。

スピード違反につきましては、管轄が警察署になりますので、我々も川越警察署と連携いたしまして、取り締まりをお願いし、強化してまいりたいと考えております。

いずれにいたしましても、安全対策につきましては、学校や道路等の管理者、それから警察といったそれぞれの関係機関との連携、情報共有が大切だと思いますので、今後、交通事故が1件でも減らせるよう対策をしていきたいと考えております。

市長

安全に通行できる道路整備は個人的にも重要性の高いものであると位置づけておりますので、担当と協議しながら検討を進めたいと思います。ありがとうございました。

7 通学路について

発言者

場所は、新河岸駅の上福岡側へ50m先位にある踏切から、上福岡側に向かって線路の左側の道路は、高階小学校に通う通学路になっております。そこはこどもたちの通行が多いのですが、道幅が3ナンバーの車がさっとすれ違えないくらい狭いです。

高階地区は非常に道路が狭いのですが、朝夕方こどもたちが学校の行き帰りに通るところに外語専門学校ができて、こどもたちの朝と帰りの通学時間と学校の通学時間が同じ時間帯なので、こどもたちと外国人が一緒になって通行量が増えています。外国人が3、4人1列になって歩く、あるいはスマホで話しながら歩いていて車が来てもわからないので、車の人たちも注意をする必要がありますし、そのような大人と一緒に歩いているこどもたちが道路にはみ出るといった状況を知っています。

そこで、自治会としては外国人の方々のマナーが問題だということで、会長副会長含めて外語専門学校に一度話に行きました。日本人の学校の先生が対応してくれまして、少し良くなりました。責任を持って話してくれているとは思いますが、なかなか国民性の違いもあって難しいのかなと思いますので、こどもたちの通学、それから車の安全性も考え、こどもたちをどう守っていくのかというところで、特に踏切のところですが、自治会の方々、砂の方々と私達も週に一度立哨を行い、子供たちの通学の安全を確保したいと思っています。ただ、できれば、日本語がなかなか通じないところもあるので、外語専門学校に対してもしっかりと指導していただければという要望でございます。

市民部長

新河岸駅周辺は、川越街道と国道254号の抜け道になっておりまして、道幅も狭くて通行には注意が必要であると認識しているところでございます。そのため、路面標示等によるドライバーに対する注意喚起、グリーンベルト、交差点付近でのベンガラ塗装といった安全対策を行っているところでございます。

私も今高階市民センターに来る間に付近を見てまいりまして、確かにかなり路面標示などが薄れているところがあると感じました。順次対応できればと考えております。

また近くにできた外語専門学校に通われている生徒のマナーの件ですが、自治会様自ら学校の方へ出向いて話に行かれたところでございますが、本市としましても、こちらの外語専門学校に限ったことではございませんが、外国籍市民に対する交通安全啓発は課題でございまして、例えば学校の方から、あるいは企業の方から交通安全教育等の要請がある場合には、川越警察署が実施しております安全教育をご案内しているところでございます。また、交通安全の啓発に限ったことではございませんけれども、やはり文化が違いますので、広く生活のマナーなどのご案内について、川越市で生活する上で必要な基本的な情報を知ることができる川越生活ガイドがダウンロードできる二次元バーコードが掲載されているチラシを、外国籍市民の方に転入手続きの際にお配りしまして、交通ルールを含めました生活全般、ゴミ出しも含めた情報提供なども行っているところでございます。

いずれにしましても、外国籍市民に対する昨今問題になって、いろいろ市内でもそういった苦情などのお話は伺いますが、学校も含めた関係各所、あるいは関係機関と連携いたしまして、交通安全を含めました啓発、生活安全のルールの啓発に努めていきたいと考えております。

市長

外語専門学校の周辺における交通問題というのは、わたしの提案などを通じても情報が入っていたところでございまして、苦慮されているかと思います。

問題が大きくなる前にしっかりと対処できればと思っておりますので、今後も連携させていただければと思います。よろしくお願いします。

8 (仮称) 森林公園整備事業について

発言者

森林公園整備事業につきまして、川越南文化会館の近くにある川越市森林公園予定地が森林公園予定地となってから 20 年以上経過しますが、未だに予定地のままでです。

昨今、カーボンニュートラルや気候温暖化といった環境の大問題等含めて、森林の果たす役割というのが非常に注視されているところだと思います。そうした中で、今年度の高階支会の事業説明会のときに、森林公園予定地のさんぽ道の延伸計画があったかと思います。これは従来、縮小の傾向で検討しているというところにとどまっていたものが、さんぽ道の延伸計画という言葉を見たので、何か具体的にいつ、どれくらい、どのようにというものが計画されたのではないかという思いがあり、どのようなものかを尋ねさせていただきたいというところでございます。

自然が相手の事業というところがございますので、短期的な、今期だけではなく、中長期的な展望といいますか計画というものをお持ちだと思いますので、そのあたりのことに関して、教えていただければというところでございます。

都市計画部長

森のさんぽ道の通路延伸工事を今年度実施させていただく予定でございます。こちらは昨年度までは駐車場だった土地を地権者さんにお返しして、南文化会館側から森のさんぽ道の入口に至るまでの通路部分につきまして新しく用地を取得させていただきまして、今年度はその部分の工事をさせていただくという事業でございます。

現在、発注手続きの方を進めておりまして、年内には事業者が決まるよう銳意進めていますので、そちらについては今年度中に完了できるように進めさせていただきたいと考えております。

森林公园の整備計画は、最後に見直しをしたのが平成15年で、20年近く地域の皆様にはお待たせてしまっている状況ということで、その分期待も多いのかなと我々としては受けとめさせていただいております。雑木林が非常に豊かな土地ということで、計画値上は約40ヘクタールと非常に広大で、そのための用地取得につきましては、今でも相続が発生した段階などに市あるいは川越土地開発公社で取得させていただいております。今年度も用地取得のための測量費など必要な予算は確保させていただいておりますが、しかしながら広大な敷地ということで、少し時間やお金もかかるということがございますので、市の財政状況や、あるいは計画してから15年20年位経っているということもございますので、ますます森林の重要性が高まっているという社会経済情勢なども踏まえて、しかし費用面などでなかなか実現不可能なものであってはまた進まないということがございますので、森林を保全するため、あるいは活用していくために実現可能な計画となるよう、事業手法も含め、現在市の方で一生懸命勉強しているところでございますので、近いうちに皆様の方に見直しの方向性なりについてご相談できるよう取り組んでいきたいと思います。その際にはぜひご指導ご助言いただければと考えております。

市長

森林公园計画地は、計画のままでありますので、本当にそろそろ見直すべき時期に来ているとは思っております。担当ともしっかりと協議してまいりたいと思います。

ありがとうございました。

9 公共交通機関の利便性向上について

発言者

川越市中心部に比して脆弱状態ともいえる、公共交通機関について、次の改善を申し入れます。

1点目は、市内循環バス「川越シャトル」41系統(新河岸駅東口 ⇄ 南古谷駅 ⇄ 埼玉医大)の便数について、平日は現状「旭橋東」停留所停車3便を7便から10便、土休日は現状「旭橋東」停留所停車2便を5便から7便に増便してほしいという要望です。

2点目が、市内循環バス「川越シャトル」41系統にある停留所「南古谷病院入口」を「南古谷病院」または隣接の「みやこ薬局南古谷店」に変更してほしいという要望です。

3点目が、デマンド型交通「かわまる」の乗降場に、市内循環バス「川越シャトル」41系統の停留所「旭橋東」付近の追加を希望するものです。

最後4点目としまして、新河岸駅東口タクシー乗り場にタクシーの待機がほぼ無いため、新河岸駅西口タクシー乗り場に比して5割~7割程度の台数が待機されるよう、各タクシー会社への申し入れをお願いしたいということです。

この効果としまして、移動手段の選択肢が増え、多少なりとも高齢者の免許返納の向上や、普段の生活の向上、普段の生活の活力向上に繋がると考えます。

都市計画部長

まず1点目の「川越シャトル」の便数の増便につきまして、こちらも非常に多くの地域の方々からご要望いただきしております、市としましても必要性については認識しているところでございます。「川越シャトル」につきましては、民間の路線バス、あるいは鉄道路線を補完するという役割を担っております。しかしながら、頻繁に見直しをすると市民の皆様の利便性が低下するということもございますので、概ね5年に一度見直しを行わせていただいている状況でございます。直近は令和6年4月に見直しを行ったところでございまして、現在その見直しの効果や、年数の経過による皆様の利用の変化といった状況を把握させていただいている期間ということで、日々に見直しということは難しいところです。その他には、皆様も報道等で2024年問題とお聞きする機会が多いかと思いますが、市ではバス事業者に運行を委託して行っているため、バス事業者につきましても運転手不足や、昨今の物価高騰ということで、なかなか大幅に便数を増やすことが難しい状況ではございます。一方で「川越シャトル」も含めまして、市民の皆様の貴重な足という認識でございますので、次の見直しのタイミングでは、地域の皆様からこのような切実なご意見があったということは、しっかりと受けとめさせていただいた上で検討できればと考えております。

やはり地域の皆様の足ということで、その必要性をしっかりと我々としても把握したいと考えておりますし、皆様に地域公共交通に乗っていただくことも必要ということで、普段お車をお使いの方もたまにはちょっとシャトルに乗っていただくことで地域の足を一緒に守っていただく、そのような構造転換のようなところも少しお考えいただけすると大変ありがたいと考えております。

また、シャトルのルート変更ということで、現在南古谷病院入り口にシャトルの41系統の停留所がございまして、これを少し南古谷病院により近いルートにできないかということで、こちらもルートの見直しのタイミングで検討はさせていただきたいとは思っています。

予約制にはなりますが、少し乗降場の間隔が狭く置かれているデマンド型交通「かわまる」も運行しておりますので、「かわまる」につきましては、南古谷病院の近くに乗降場を設置してございますので、そちらも併せてご検討いただけたらありがたいなと考えてございます。

3点目がデマンド型交通「かわまる」の乗降場を「川越シャトル」の旭橋東付近に追加いただきたいというご要望でございました。今申し上げましたとおり、「かわまる」につきましては、少し狭い間隔で乗降場を設置しておりますが、そもそもデマンド型交通「かわまる」の役割といたしまして、鉄道駅や「川越シャトル」、民間の路線バスを含めたバス停も近くにない、いわゆる交通空白地域を埋めていくために乗降場を設置しているという趣旨がございますので、「川越シャトル」のバス停の近くには、なかなか置きづらいという状況が今までありました。一方で、シャトルの便数が少なく、実質的に交通が不便だというお声も従来からいただいておりますので、現在、川越市の交通政策審議会におきまして、バスの便数が少ないようなエリアについては交通不便地域ということで、「かわまる」の乗降場も設置しやすくなるような見直しを現在検討しているところでございます。議論の経過を見守っていただけたらと考えております。

建設部長

新河岸駅前のタクシーの確保につきまして、東口と西口にタクシープールを市が設置しており、両方で10台位停めることができるようなスペースがございます。

タクシー乗り場の待機台数につきましては、台数を増やしてほしいというご要望もございますので、川越市の駅前広場使用タクシー協議会と小江戸個人タクシー協議会に、このような要望があるということをもう一度申し伝えさせていただきたいと考えております。よろしくお願いします。

市長

公共交通は非常に大事なものであると個人的にも位置づけておりますので、今日いただいたご意見、大いに参考にさせていただきます。

どうもありがとうございました。

10 資源回収について

発言者

私どもは資源回収ということで、新聞紙だとかダンボールなどを月2度回収して、それが自治会の予算にとても役立っております。

昨今は、やはり新聞を読む人が少なくなったのか、新聞紙の量も減ってきてています。ダンボールも減ってきて、ちょっと自治会の予算に支障をきたし始めているということがございます。市が買い取っていただける金額が、kgあたり今6円です。以前は7円だったのですが、これを7円に戻すようなお話をあったかと思います。ご存知のとおり、自治会というのはどこも同じ状況だと思います。高齢者や自治会の会員さんたちもどんどん減ってきており、予算が少なくなつて自治会の活動にも影響を及ぼしてきているという状況でございます。そういったことで、7円に上がれば少しは助かるのかなという思いで、ちょっと今発言させていただきました。

総合政策部長

これは環境部の問題ですけれども、私も以前、財政課長やっておりましたので、参考になるかどうかわかりませんが、お答えさせていただきたいと思います。

確かに私が財政課長の時に資源循環推進課でそのような補助金を自治会の皆様にお配りしているというのを承知しております。中国市場も含めて、古紙の単価によってかなり増減があるということは伺っております。なかなか単価が安定しないというところと、受け入れの量というのも、新聞を読む方あるいはダンボールを出す方がだんだん減ってきており、そのようなところが単価にも影響しているというのは伺ったことがあります。

私の方で金額をどうすると申し上げることはできませんが、そのような自治会活動の原資となっているということを市職員は承知しておりますので、いただきましたそのような現状のお話しについては、改めて私の方から担当部の環境部や財政部に説明させていただきますので、どうぞよろしくお願いします。

11 ①自治会長への依頼について

②自治会員の減少と推薦依頼について

③道路の安全対策について

発言者

ご相談したいことが3つありますて、1点目が自治会長宛にいろいろな課から、横の連携も取らずいろいろ送付されると思っていて、掲示板のサイズも分かっておらず、張り切れないくらいの量が送られ、かなりの量を捨てています。

自治会に依頼してもらうのはよいと思いますが、それをタスク管理できるような、公民館の予約システムのようにあの課からいつまでにこれを出してと依頼がきている、この課からもきているというような、自治会長と市のやりとりをデジタル化していただけますと助かりますので、川越市で統一したツールなどを提供いただけますと我々も楽になるで嬉しいと思っております。答えは不要です。

2点目は、私の自治会でも会員が減少しています。今まで65歳以上の方が役員をやつてくれていましたが、その方々も生活のため働かないといけない、また、後期高齢者になってきて役員ができないとなってきたので、保健推進員やスポーツ推進員など、自治会で必要ないと判断したものは、川越市からの委託でも人を出せなくなっています。川越市として、そこをどうされたいのか明確にしていただけますと嬉しいです。私の考えとしては、高齢者に頑張ってもらうのは限界と思っています。紙ベースで非効率なやり方は自治会の運営として終わりだと思うので、平日の日中は働いているデジタルに対応できる若い世代が、きる範囲のことをやっていく形になるのではと思います。

私は、市長が言った自治会が日本を変えたみたいなことは思わないで、今はどちらかというと自治会は負の側面が多いと思いますので、若い世代が自治会はしょうもないと思っているところに対して、自治会自体を何か変えるみたいな期待をもてるメッセージを市から出していくだけだと嬉しいと思っています。そのようなものがなく自治会が衰退していくと、最悪の場合川越市住みづらいから他にいこうというような、損得だけを考えるような形になってしまふのではないかと感じています。

3点目は、新河岸駅近くのスーパーマーケットがある通りについて、車がとばしていますし、高齢者も歩道が細いのではみ出して歩いているというのがありますので、そこにガードレールではなく、車や人間の利便性はそこなったとしても、凹凸などでスピードを出せないようにしていただけますと嬉しいなと思います。

市民部長

1点目の自治会長にいろいろな文書が送られてくるというご指摘につきましては、以前から課題になっておりまして、集約してバラバラに送付されないように府内で統一していると考えてはおりますが、一部早くお知らせするために守らないで送付してしまうようなところもあると聞いております。改めて府内で情報共有しまして、まとめて無駄のないように周知していきたいと思います。

また、そのようなことが自治会長様の負担になっていることは十分承知しておりますので、回覧は特別なことがない限りなくすようにしております。これはコロナをきっかけに自治会活動が行われなくなったこともあります、原則緊急に全世帯に周知しないといけないものを除いて、お知らせのような周知は、回覧しないようにしております。

またDX化は確かに課題として、自治会によっては役員にタブレットを導入して活用しているところも聞いておりますので、そのような先進的な自治会の事情も聴取して、予算面もございますが、他の自治会にも展開できるようなやり方があればお知らせしていきたいと考えております。

発言者

自治会内ではデジタル化しているのでいいのですが、市からの必要な情報量が多いのは仕方ないので、そこをToDoリストのように管理できると誰も忘れないと思います。

市民部長

自治会と市のパイプは大変重要ですので、お知らせやスケジュール管理的な、今度こういうものがある、今度この会議に会長様に出席いただくといったところ見える化できるといいというのはお聞きしておりますので、課題として取り組めればと思っております。ありがとうございます。

建設部長

3点目の通りは、道幅が狭いところで、道の両側に歩行者が通行するような危険な場所であることは認識しております。

ガードレールの設置は車を圧迫して逆に危険が伴いますので、車と歩行者の色分けができるような対策は考えていいかと思いますので、よろしくお願ひします。

市長

DXツールを用いて、自治会長さんたちの負担軽減に繋がるといいなという、非常に参考になるご意見をありがとうございました。そのようなことを通じて、若い世代がどんどん入るといいなと思います。一言だけ、年齢の高い方たちも、地域のまとめ役となって、新たな挑戦を次々とされている方もたくさんいらっしゃることに触れさせていただきます。ありがとうございました。

12 自治会活動と地域会議の活動の今後について

発言者

自治会活動と地域会議の活動をどのように進めていくのか、今後の考え方を回答できる範囲でお願いします。

全国的な傾向だと思いますが、自治会の加入率がどんどん減少してきております。地域会議は、自治会関係なく代表者が集まっていろいろなグループを作って進めていますが、自治会と地域会議の2つがあるので、このあたりの進め方について、川越市としてはどのようにお考えかお伺いしたいです。よろしくお願ひします。

市民部長

地域会議が発足してから約10年がたつところでございます。5年に1回承認しており、今年度末をもってまた来年度に向けての承認をお願いしているところです。

確かに地域会議は地域の各団体、自治会、社協、民生委員児童委員協議会などの団体に集まっていますが、地域に共通した課題を解決するために立ち上げていただいているものでございます。市民センター管内には全て設置されておりますが、本庁管内につきましては、当初各支会でしたが、なかなか各支会では難しいということで、今3つの地区に分けて設置しようとしておりますが、それもなかなか全部立ち上がっておりません。

市民センター管内と本庁管内の成り立ちの違いもあるのかなと感じております。

地域会議の役割が、支会とほとんど変わらないとのご指摘も伺っております。ただ、共通課題に向けてしっかりと住み分けをして、うまく事業をやっているというような部分もありますので、地域会議の更新時期を迎える、地域会議の会長様のご意見等を伺いながら、来年度以降地域会議のあり方も含めて検討していかなければいけないと感じております。

市長

漠然とした話ですが、自治会の力といいますか、加入が減ってきているその状況というのは、やはり時間とお金に余裕のある人が減ってきているという社会構造の変化が影響しているものだと思います。結局会社や事業所などで働いているほうに、地域から人が取られているという問題は大きいのかなと思っておりまして、そういう点では地域会議は自治会の他に企業や事業所も含むことができるということですね。

今後は、自治会加入者が減っている中で、そのような事業所や企業の力を借りて地域づくりをしていくことが重要になってくるのだろうという想いがありまして、そういう点で地域会議というのも今後役割を増していく可能性があるのかなと思っております。

市長

改めまして、本日は本当にありがとうございました。それぞれ高い識見を持ちの自治会長様、またそれぞれ地域の実情に通じられた自治会長様からお話を伺えたのは大変貴重であったと思います。今日の話を元に、さらに市政の進展のため力を尽くしてまいりたいと思います。

今日、自治会長様方の苦労というのも大変よくわかりましたので、そのあたりもしっかり考えてまいりたいと思います。

本当にありがとうございました。